

令和3年度事業報告

(注) 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言及び蔓延防止等重点措置より、事業活動の中止、規模縮小、延期等の対策をとったが、この報告書の個々の事業報告の中では「新型コロナウイルス感染症の影響」等による表現はせず、単に中止等の表現とした。

1 警備業を取り巻く情勢の変化に対応した諸対策の推進

(1) 東京オリンピック・パラリンピックの開催と、この開催を契機として想定される諸課題への対応を目的として設置された特別委員会の活動

東京オリンピック・パラリンピックが開催された。

なお、平成30年11月1日に設置された「東京オリンピック・パラリンピック等警備諸課題対策特別委員会」、及び同委員会に付置された「教育の合理化等」、「雇用促進」、「適正取引推進」の3部門の分科会については、オリンピック・パラリンピック警備が終了し、初期の目的が達成したことから、

- ・ 各対策分科会（3分科会）座長会議（9月7日）
- ・ 特別委員会の開催（10月6日）

において、「活動の成果の確認と今後の在り方」について検討した。

設置以降の「活動の成果」については、

ア 特別委員会

3分科会からの活動結果の報告及び今後の活動方針の報告を受けるとともに、JVによる大会警備に向けた参加企業等の協力依頼に対応した。

イ 教育の合理化等分科会

- 改正施行規則（教育の合理化）を適切に推進するため、研修会、個別相談会を実施
- 警備員指導教育責任者の資質の向上のための研修会の開催
改正施行規則に伴う法定備え付け書類の適正管理のための「お助け研修会」の実施
- 小冊子「不審者対応ハンドブック」の作成
- 改正施行規則に伴う非加盟社を対象とした研修会の実施

ウ 雇用促進対策分科会

- ハローワークと連携した就職相談・説明会の開催
- 県内各地の商業施設で開催される「ハローワーク展」への参加
- 女性キャリアセンター企業合同説明会
- 「雇用拡大のための広報支援」についての講演の実施
- 「求人募集ポスター」等の県内ハローワーク等への配布、掲示依頼

エ 適正取引推進対策分科会

- 適正取引のための事業主・営業担当者研修会の開催
全警協等が推進する「警備業における適正取引のための『自主行動計画』」の周知と対応要領のポイントに関する研修会の開催
- キャンセルポリシー推進等のための「適正取引推進研修会」の開催
- 「キャンセルポリシー定着のためのアンケート」の実施、パネルディスカッション
式で、キャンセルポリシーを導入した社の導入の経緯等についての報告、キャンセルポリシー推進バッジ2種類の製作と活用依頼

これらの成果を踏まえての今後の在り方について検討した結果、当特別委員会（設置要綱）については廃止し、雇用促進対策及び適正取引の推進については、施策等協議特別委員会（既存の特別委員会）において、引き続き、対策を講じていくこととした。また、教育の合理化分科会については、警備業施行規則の一部改正の趣旨の浸透が図られたことから廃止することとなった。

このことを理事会において報告し了承された。

(2) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック警備への対応

- 「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会警備共同企業体」（「警備 J V」）と一体となった警備を推進した。当県からは警備 J V に 41 社が参加した。
- J V 解散式（10/30）
- オリンピック関連の関係会議への対応等
 - ・ 「オリンピック警備業務連絡会」（東京都警備業協会主催）（4/6、4/28、9/22 解散式）
 - ・ 警察本部主催のテロ対策『彩の国』ネットワーク」会議～中止

(3) 雇用対策の推進

ア 埼玉県労働局・関係ハローワークとの合同面接会の共同開催

- 慢性的な警備員不足の改善を図るため、県内 3 会場において開催（2.17）
 - ・ 浦和会場～プリムローズ有朋（労働局・ハローワーク大宮・川口・浦和（埼玉しごとセンター））
 - ・ 川越会場～埼玉県警備業協会（労働局・ハローワーク川越）
 - ・ 熊谷会場～熊谷市立勤労会館（労働局・ハローワーク熊谷）

○ 参加企業 41 社

○ 求職者 23 人

（令和 4 年度は更に拡大して実施予定～令和 4 年度事業計画参照）

イ 埼玉県女性キャリアセンターによる「業務見学受入れ企業」の説明会の開催（3/23）

同センターが推進する「応募前に業務体験を行うことによるミスマッチをなくすとともに、新しい仕事にチャレンジする女性を応援する受入れ企業として登録」する事業の説明会を実施した。

(非常勤講師が参加する「教育センター会議」において実施)

ウ 自衛隊埼玉地方協力本部地域援護センターによる退職自衛官の求人企業説明会の開催
(3/23)

同センターへの求人企業としての登録と求人票の出し方等についての説明会を実施した。

(非常勤講師が参加する「教育センター会議」において実施)

エ その他の活動

○ 埼玉県労働局 人材確保協議会 (7/21)

○ 大宮労働局 警備PRセミナー (7/30)

(4) 「就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業」による「警備員検定取得と正社員(常用雇用)就職支援」を組み合わせた教育訓練の実施

(厚生労働省委託事業→全国警備業協会受託→県協会へ事務委託)

全警協が厚労省から受託して実施する就職氷河期世代(35歳~54歳)を対象とした訓練コース(警備員検定(施設・交通))を習得させ、正社員(常用雇用)就職につなげる出口一体型の教育訓練)

具体的には、「なろうとする者講習(施設警備・6日間)+一般教養研修(2日間)+職場見学(2日間)」の訓練コースを1月に実施した。

15人が受講し、13名が警備員施設2級検定に合格した。

(5) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

① 行事関係

理事会、総務委員会、各委員会は、オンラインを含めて必要に応じて開催した。

また、非常勤講師委嘱式、労働安全大会、賀詞交歓会は中止した(一昨年度も中止)

② 教育関係

- ・ 新任教育は、人員を制限して実施(一昨年同様)。
- ・ 現任教育は、協会で人員を制限して実施。浦和・鴻巣会場は中止(一昨年同様)
- ・ 特別講習は、感染防止対策を講じて通常開催した。
- ・ 指導教育責任者取得講習は、感染防止対策を講じて通常開催(県警・公安委員会)

③ 感染防止対策の推進

- ・ 密集、密接、密閉の3要素を避けるための対策を推進
受講者の人員の制限。人の間は前後2メートルを確保。窓開け換気を徹底
- ・ 受講者、講師、協会職員等に対する措置
- ・ 来場時の検温、入室場時(1つの行動対応時)の手指消毒
- ・ 来場に伴う問診票の提出
- ・ 熱、咳、倦怠感、味覚、臭覚に関する異常等について申告

④ その他

緊急事態宣言に伴う政府・県の自宅待機(70%)要請に基づく協会職員の部分休業の実施(7~8月)

2 警備員教育の実施

新任教育・現任教育の受講者数

総受講人員 1,413 人（前年比+51 人 +3.6%）

（内訳 新任教育任 138 人 -14.3%、現任教育 1,275 人 +8.6%）

3 特別講習の実施

令和3年度は12回（前年対比+4回）実施した。実施状況は次表のとおり。

種別	級別	回数	受講者(人)	合格者(人)	合格率(%)	全国平均
施設警備	2級	3回	141	118	83.7(-1.4)	67.7
交通誘導	2級	6回	232	177	76.3(+10.0)	55.7
雑踏警備	2級	2回	99	89	89.9(-4.1)	74.3
貴重品運搬	2級	1回	21	19	90.5(+1.8)	66.8

（注1）受講者総数 493 人（前年比+84 人）。「合格率」欄の（ ）は前年対比

（注2）熱中症予防、落雷時の避難場所等として、マイクロバスを活用

4 受託講習の実施

埼玉県公安委員会からの受託講習の実施状況は、次のとおり。

(1) 警備員指導教育責任者・新規取得講習

種別	回数	受講者(人)	合格者(人)	合格率(%)
1号業務	2回	57	43	75.4
2号業務	2回	75	58	77.4
3号業務	1回	9	9	100.0
4号業務	1回	6	6	100.0

(2) 警備員指導教育責任者・追加取得講習

種別	回数	受講者(人)	合格者(人)	合格率(%)
1号業務	2回	27	18	66.7
2号業務	2回	27	27	100.0
3号業務	1回	1	1	100.0
4号業務	1回	2	2	100.0

(3) 機械警備業務管理者講習

種別	回数	受講者(人)	合格者(人)	合格率(%)
機械警備	1回	5	3	60.0

(4) 警備員指導教育責任者現任（定期）講習（人）

1号業務	3回	136
2号業務	3回	132
3号業務	0回	—
4号業務	0回	—

5 協会実施の講習会（人）

特別講習・予備講習	施設2級	3回	91
	交通2級	6回	188
	雑踏2級	2回	39
特別講習・事前講習	施設2級	3回	146
	交通2級	6回	356
	貴重品2級	1回	22
	雑踏2級	2回	93

（注）予備講習・事前講習受講者総数 935 人（前年比+248 人）

6 研修会・講習会の開催

経営者研修会（10/26 責任賠償保険制度について）

指導教育責任者研修会（9/17 午前・午後 リモート実施）

会員外企業対象のオールフリー研修会の開催（11/15）

7 教育体制の強化

(1) 特別講習非常勤講師の募集及び選考

新たに施設1人、交通2人の非常勤講師を選考し、委嘱した。

(2) 指導教育責任者講師体制の充実

新たに2名が全国教育幹部研修会に参加し、教育体制の充実を図った。

(3) 特別講習現任講習は、延期（翌年度持ち越し）となった。

8 労働災害事故防止活動の推進

(1) 労働災害の発生状況と注意すべきポイントを取りまとめた小冊子「警備員の労働災害防止のために～令和2年度労働災害の発生状況から～」を作成、配布した。

(2) 第23回安全運転コンクールの実施（4月～9月までの間で実施）

(3) 警備員に対する現場指導監督運動（11月8日～30日までの23日間で実施）

9 防災訓練・防災地域貢献活動

(1) 防災訓練等

第40回九都県市合同防災訓練は中止となった。

- (2) 災害対策用品の備蓄
大規模災害時における、地域の避難場所として活用できるよう災害対策用品を備蓄
(飲料水、簡易トイレ、タオル、乾パン等)
- (3) 災害時対応の自動販売機設置
従来からセンター施設に災害時対応型自動販売機を設置
- (4) 緊急の交通規制時等に関係車両等の駐車場所としてセンター施設の提供
警察車両、緊急工事車両、交通誘導業務等に便宜

10 「埼玉県防犯のまちづくり協定」等に基づく取り組み

協会、各支部が連携して地域防犯活動等を推進し、犯罪抑止、犯罪検挙に協力した。

- (1) ATM周辺で業務を行う警備員に対し、毎日、県警からの振り込め詐欺警戒情報を提供するため、ホームページに発生状況を掲示
- (2) 警察署が開催する防犯運動、交通安全運動のキャンペーン等への参加をはじめ、「子ども安全協定」、「路上寝こみ等による交通事故防止協定」に基づく活動への協力
- (3) 全国春の交通安全運動における各支部と各警察署が連携した交通監視活動の企画・実施
春の全国交通安全活動に合わせて交差点、小学校の近辺等において交通監視活動を実施
- (4) 表彰の受賞
 - ・防犯栄誉銅賞 和田章氏 (テイシン警備(株))
 - ・安全優良職長厚生労働大臣顕彰 岩井道彦氏 ((株)日本建設警備)
 - ・地域安全功労賞 協会と百瀬啓司氏 (太平ビルサービス(株)さいたま支店)
 - ・人命救助等顕著な功労表彰 池田一氏、山田和也氏 (日本通運(株)北関東警送支店)
 - ・暴力追放活動・地域安全活動表彰 (管区警察局長・暴追センター会長表彰～協会)

11 広報・啓発活動等

- (1) ホームページのリニューアル
ホームページに会員専用窓口を設け、情報発信を強化するとともに、申請手続きや動画を盛り込むなど活用しやすいよう大幅にリニューアルした。
 - ・会員専用サイトの設置
規程集、会員名簿、県警からの情報提供等これまで紙ベース提供だったものをホームページに掲載し、常時閲覧可能にした。
 - ・協会行事予定を3ヶ月前まで月別カレンダー方式で掲示
 - ・新任教育、いつでも現任教育の講習予約システムの導入
～ホームページ上から空き状況を確認し、ホームページ上から予約～
- (2) 機関誌の発行～機関誌「埼警協」を年3回発行し、会員、関係機関団体等に配布
- (3) 業界専門紙への情報提供と掲載記事(主な記事は次のとおり。協会と支部提供のみ)
 - ・03.4 労働局・ハローワークと合同面接会を共同開催(R2.3/25実施分)
 - ・03.4 全国初「PC教育」(いつでも現任教育)がスタート

- ・03.6 定時総会の開催
- ・03.6 トップ・インタビュー（炭谷勝会長）
- ・03.11 浦和支部と浦和東署合同で特殊詐欺防止を呼び掛け
- ・03.11 路上寝込みの男性救助。二次事故防止で感謝状
- ・03.11 ATM＋携帯電話＝詐欺、声かけて未然防止で感謝状
- ・03.12 非会員向け研修会の開催
- ・03.12 警備員表彰式の開催
- ・03.12 浦和支部と浦和東署が児童虐待通報（189＝いちはやく）を呼び掛け
- ・03.12 年末年始特別警戒に参加（大宮支部）
- ・03.12 全警協表彰（高速道路で寝込んでいた男性を救助）
- ・03.1 子供、女性、高齢者を守る防犯3者協定
- ・03.2 女性キャリアセンターの業界研究セミナーで女性求職者にPR
- ・03.3 労働局・ハローワークと県内3ヶ所で合同面接会を共同開催

12 行政機関・関係機関等との連携

(1) 関係機関の実施するイベント

例年参加していた交通安全対策協議会、暴力追放・薬物乱用防止県民大会、防犯のまちづくり県民大会、埼玉県特殊詐欺撲滅官民合同会議、万引き防止官民合同会議等は、中止又は書面決議（通知）となった。

(2) 埼玉県議会議員団への陳情（書面陳情）

労務単価の向上、人手不足対策への支援、関連予算の確保について要望書を提出し、県に対して要望として提出され、その対策について県から回答があった。

13 諸会議等

(1) 定時総会・役員会議

第9回定時総会	令和3年5月25日
理事会	4回
会長・副会長会議	随時開催
支部長会議	随時開催

(2) 各委員会等

各委員会（総務、教育、労務、災害対策）は、必要に応じてそれぞれ開催した。

各専門委員会（交通・雑踏、施設、貴重品）は中止した。

教育センター会議（非常勤講師委嘱式含む）の開催（3/23）

役員候補者選考委員会は必要に応じて開催した。

教育研究部会、特別講習研究部会、講師選考委員会は、必要に応じて開催した。

(3) 支部活動

浦和支部総会（6/22 web 併用開催）

他の支部の総会は、書面決議で実施した。

研修会等は開催しなかった。

(4) 全警協・関東連関係会議

ア 全警協

定時総会（6/9）に出席

「警備の日」表彰式は web 参加

理事会等の会議は web 参加

全国専務理事会議・労働安全大会（7/7）出席

イ 関東地区警備業連合会

定時総会（4/13.14）に出席

地区連会長会（11/25）に出席

14 表彰

警備員表彰式の開催（11月16日）

- (1) 優秀警備員表彰（県警生活安全部長・会長連名表彰） 6名
- (2) 社会安全功労表彰 1名
- (3) 永年勤続表彰（20年、15年、10年、5年）413名
- (4) 労働災害防止標語・論文・ポスター 24名
- (5) 安全運転コンクール表彰 25チーム

15 その他

- (1) 協会員加盟の促進（加盟社287社）
- (2) IT機器の導入等による事務の合理化・効率化の推進
- (3) 会員各社の運営実態並びに特別講習の実施計画等に関する調査の実施
- (4) 労災事故防止標語入りカレンダーの作成
- (5) 親睦旅行、賀詞交歓会は中止